

Well-beingが高まり広がる市民参画に向けて ～市民一人一人のWillを育み応援する「共創のまちづくり」のポイントと取組のヒント～

政策指標「市民一人一人の姿」の実現

- ・市民一人一人のWill（やりたい）の実現
- ・人と人とのつながり



- ・市民もまちも Well-being
- ・活力ある持続可能なまちづくり



第3次朝来市総合計画将来像の実現
「人と人がつながり 幸せが循環するまち」

子ども・若者から大人まで、いろいろな人の参加が
様々な視点で考えられるきっかけに。
次世代が育まれるきっかけにも。

【未来を拓く子どもの参加】

- ・様々な体験活動をとおして主体性、自己肯定感、シビックプライドを育む
- ・カッコいい大人との出会いでワクワクする未来
- ・土曜チャレンジなどの地域での様々な体験活動
- ・職場見学、お仕事紹介

【次世代につなぐ中高生や若者の参加】

- ・中高生や若者の夢が育む
- ・中高生や若者が企画段階から参画
- ・地域自治協議会活動に中高生や若者が参加できる事業（子どもがいない若者でも参加しやすいことも大切）
- ・誰もが参画できるオープンな地域自治協議会づくり
- ・地域にたくさんのサークル活動を育てる
- ・お互いに誘い合って参加する（口コミの重要性）

気軽に集っておしゃべり。
アイデアに夢を膨らませ、アクションにつなげていこう！

【多様な人の参画】

- ・多世代・多様な人が集まる（集まりやすい）
- ・多様な人が集える対話の場・交流の場づくり
- ・中高生が対話の場などへ参加しやすくするための場設定、移動方法の支援（例：公共交通チケット）など
- ・年齢に関係なく多様な人と話す機会をつくる

【楽しく気軽に集える場、自分らしくいられる居場所】

- ・集まるのが楽しい、居場所がある
- ・話しやすい雰囲気や安心して話すことができる場
- ・仲間ができる、社会とのつながりを実感できる場
- ・集まりやすい単位で集う場づくり（小さな単位、同じ悩みを持つ人同士、決まった時間に決まった場所で開催など）
- ・美味しいものを食べながら集う場づくり
- ・特色のある場づくり（例：イングリッシュキャンプ、中堅世代トークカフェ、中高生未来会議など）

まちの活動やみんなの思いが伝わる情報共有。
知ることで新たなきっかけにも。

【まちの動きが分かる情報発信】

- ・情報発信・共有が参画のきっかけに（何をしているかが分かれば安心して参加しやすくなる）
- ・様々な地域の活動の見える化
- ・市民参加による広報紙作成・ケーブルテレビ制作
- ・地域自治協議会等の行事が一覧のカレンダーづくり

【強みを活かしよう横のつながり】

- ・情報共有で地域間や市民活動等との連携

【みんなの意見をまちの力に】

- ・市民の意見を集める方法の多様化
- ・様々な規模やテーマの意見を伝える場づくり
- ・オンラインでのプラットフォームづくり
- ・市民参加の議会（例：高校生議会、青年議会など）

一人一人のWill（やりたい）を育み、応援しあおう！
失敗しても大丈夫。ゆる～く、できる人ができることを。

【アクションの源となるWill（やりたい）を育む】

- ・主体的な思いや湧き出る力を育む
- ・「とにかくやってみよう」という雰囲気
- ・地域等でのファシリテーターやコーディネーターの育成
- ・伴走支援などによる安心感と新たなことを育む寛容性の醸成

【Will（やりたい）のチャレンジを後押し&受援力】

- ・Will（やりたい）を言える場、共有する場
- ・Will（やりたい）の実現に向けての仲間づくり
- ・Will（やりたい）を具現化できる場（発言、会議）づくり
- ・仲間づくりにつながる場、助けてが言える場づくり

【個を活かすことで一人一人のやりがいに】

- ・大人も子どもも役割がある
- ・得意を活かし、できるときにできることを
- ・得意なことや趣味などを活かし、できることから
- ・失敗してもOKの雰囲気づくり

Willを育み応援する 行政の役割など

【市民と行政（職員）の関係】

- ・市民と行政（職員）の信頼関係
- ・敷居の低い市役所
- ・職員は市民として積極的に企画段階から地域活動などに参加
- ・職員は市民とともに一緒に考える
- ・職員は気持ちの良いあいさつから
- ・職員一人一人がよろず相談所的な役割を担う

【Will（やりたい）を育み、応援する専門的な役割】

- ・市民や地域の主体性を育むみ活動を促進する伴走型支援
- ・Will（やりたい）を引き出すファシリテーターの役割
- ・人と人や資源をつなぐコーディネーターの役割
- ・市民主体の活動を促進する専門的な機関
- ・仕組みづくり・場づくり
- ・得意なことと助けてほしいことをつなげる人財バンクづくり